



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康廣
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鶴飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	230	—	△62	—	△69	—	△68	—
28年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 △71百万円(—%) 28年9月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△14.68	—
28年9月期第1四半期	—	—

(注) 平成29年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、28年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,461	985	54.0
28年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 789百万円 28年9月期 —百万円

(注) 平成29年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、28年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,560	—	24	—	5	—	26	—	5.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- ・当社グループの事業の特性から、第2四半期連結累計期間の変動幅があるため、第2四半期連結累計期間における業績予想の発表は控えさせていただきます。
- ・平成29年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社イメージワンゼ、除外 1社 (社名)
ロット

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年9月期1Q	4,741,100株	28年9月期	4,721,100株
29年9月期1Q	74,500株	28年9月期	74,500株
29年9月期1Q	4,656,600株	28年9月期1Q	3,908,320株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面に鈍さがみられるものの、基調としては緩やかな回復を続けております。設備投資は企業収益が改善を続けるなかで、緩やかな増加基調にあり、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、個人消費は底堅く推移しております。

一方、当社を取り巻く事業環境としましては、主要分野である医療業界におきまして、高齢化社会の急激な進行に伴う社会構造の変化に対応した医療・介護サービス体制の構築が急務とされております。このような全体の動きの中で、医療機関のみならず地域行政や介護施設も含めた効率的な連携が必要とされており、診療情報の電子化など、医療IT技術の必要性はこれまで以上に高まっていくことが予想されております。

このような経営環境において、当社は、医療部門における事業領域拡大を目指す中期経営方針に基づく新規事業として、自由診療医科分野の予約・検索サイト事業を運営する連結子会社を平成28年11月1日に設立いたしました。

当第1四半期連結累計期間は、新会社の開業準備に注力する一方で、前期に引き続き、医療画像事業における商品競争力の向上、在宅医療・介護福祉分野における新規事業の展開、製品原価の圧縮、の三点を重点施策とし、事業を展開してまいりました。

また、衛星画像事業においてはUAV(小型無人飛行機)関連の製品や、FieldSpec4(携帯型分光放射計)の販売に注力してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高230百万円、営業損失62百万円、経常損失69百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

当第1四半期連結累計期間の医療画像事業セグメントは、売上高207百万円、営業損失14百万円となりました。

医療画像事業全般においては、前期より取り組んでいる仕入の製品構成の見直しなどコスト削減策を継続するとともに、システム導入工程の効率化に取り組んでまいりました。

また医療画像システム商品ラインアップ強化を目的に、ConnectioRIS(放射線部門情報システム)等、自社開発システムの機能強化開発に着手いたしました。

衛星画像事業

当第1四半期連結累計期間の衛星画像事業セグメントは、売上高23百万円、営業利益6百万円となりました。

とくに国内におけるUAV運用増加に比例して、UAV関連のソフトウェアであるPix4Dmapper(自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア)の売上が堅調に推移いたしております。

ウェブ・サービス事業

自由診療医科分野の予約・検索サイトの運営を主業とする連結子会社、株式会社イメージワンゼロットを平成28年11月1日に設立したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より、新たにウェブ・サービス事業セグメントを追加いたしました。

当期間におけるウェブ・サービス事業セグメントは、設立後の開業準備と自社ポータルサイトの開設準備に注力し、第2四半期中の販売開始を目指しております。

このような一連の開業準備活動の結果、当第1四半期連結累計期間のウェブ・サービス事業セグメントは、営業損失2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、1,294百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金858百万円、受取手形及び売掛金378百万円です。

固定資産は、163百万円となりました。主な内訳は、ソフトウェア68百万円です。

繰延資産は、3百万円となりました。

この結果、総資産は、1,461百万円となりました。

(負債)

流動負債は、305百万円となりました。主な内訳は、買掛金139百万円です。

固定負債は、171百万円となりました。主な内訳は、長期借入金145百万円です。

この結果、負債合計は、476百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、985百万円となりました。主な内訳は、資本金1,244百万円、資本剰余金387百万円、利益剰余金△729百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成28年11月10日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社イメージワン ゼロットを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成28年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	858,818
受取手形及び売掛金	378,183
商品	10,710
仕掛品	19,953
貯蔵品	1,628
その他	25,786
貸倒引当金	△129
流動資産合計	1,294,952
固定資産	
有形固定資産	39,554
無形固定資産	
ソフトウェア	68,441
その他	3,395
無形固定資産合計	71,837
投資その他の資産	52,241
固定資産合計	163,633
繰延資産	3,322
資産合計	1,461,908
負債の部	
流動負債	
買掛金	139,233
1年内償還予定の社債	14,200
1年内返済予定の長期借入金	77,242
未払法人税等	3,242
製品保証引当金	4,819
その他	66,661
流動負債合計	305,398
固定負債	
社債	21,900
長期借入金	145,477
退職給付に係る負債	2,687
その他	1,424
固定負債合計	171,489
負債合計	476,887

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成28年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,244,182
資本剰余金	387,180
利益剰余金	△729,467
自己株式	△111,949
株主資本合計	789,945
新株予約権	2,129
非支配株主持分	192,944
純資産合計	985,020
負債純資産合計	1,461,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	230,491
売上原価	172,191
売上総利益	58,300
販売費及び一般管理費	120,728
営業損失(△)	△62,428
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	150
その他	45
営業外収益合計	199
営業外費用	
支払利息	936
社債利息	58
為替差損	701
支払手数料	2,058
新株予約権発行費	3,830
創立費償却	55
開業費償却	59
営業外費用合計	7,700
経常損失(△)	△69,929
税金等調整前四半期純損失(△)	△69,929
法人税、住民税及び事業税	1,474
法人税等合計	1,474
四半期純損失(△)	△71,403
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,055
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,348

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△71,403
四半期包括利益	△71,403
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,348
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,055

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	ウェブ・サー ビス事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	207,384	23,107	-	230,491	-	230,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	207,384	23,107	-	230,491	-	230,491
セグメント利益又は損失(△)	△14,176	6,787	△2,215	△9,604	△52,824	△62,428

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用52,824千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間に、自由診療医科分野の予約・検索サイト運営を主業とする株式会社イメージワンゼロットを設立し、連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして「ウェブ・サービス事業」を追加いたしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。